



懐かしい日本の暮らしが見えてくる 各地の民家の野外博物館

日本民家集落博物館は、日本各地の代表的な民家を移築復元し、関連民具とあわせて展示する野外博物館です。大阪府豊中市の服部緑地の一角、約3万6千㎡の敷地内に、北は岩手・南部の曲家から南は鹿児島・奄美大島の高倉まで12棟の民家を集めています。各民家は17～19世紀の建築で、地方固有の風土・習慣から生まれる様式を色濃く残しています。そこには、土地の自然を活かし、調和しながら生活を営んでいた人々の知恵が随所にうかがえます。それぞれの暮らしぶりは時の流れを越えて、今に生きる私たちに、大切なメッセージを静かに語りかけてくれるでしょう。



むかしのおうちのはくぶつかん

日本民家集落博物館

■開館時間

9時30分～17時（入館は16時30分まで）

■休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）
12月27日～1月4日

■入館料

	大人	高校生	小・中学生	幼児
個人	800円	300円	200円	無料
団体（20名以上）	600円	200円	150円	100円
障がい者手帳をお持ちの方	300円	100円	100円	無料
ミュージアムカード	2,500円	1,000円	—	—

※ミュージアムカードは、発売の日から1年間有効の年間入館券です。

●アクティブシニアの日

毎月15日は65才以上の方の入館料が半額になります。
※但し休館日と重なる場合はご利用いただけません。

●貸部屋のご案内

「大和十津川の民家」「南部の曲家」「北河内の茶室」の貸部屋を行っています。
（当館の行事等で使用する日は除きます）
使用料…半日5,000円、1日8,000円

■交通

- 北大阪急行電鉄(大阪メトロ御堂筋線と相互乗入)「緑地公園」駅下車
西口を出て約1km
- 阪急電鉄「曽根」駅下車 東へ約2km
- お車 国道423号(新御堂筋)から西へ約1km(標示有)
服部緑地第1駐車場が最寄り
(※博物館専用の駐車場はありません)



博物館からのお願い

当館は、国や大阪府指定の文化財である貴重な民家を展示する野外博物館です。見学には十分お気を付けいただき、建物の保存にご協力をお願いいたします。

- 民家内(縁側を含む)での飲食ならびに博物館内での飲酒はお断りいたします。
- 博物館内は禁煙です。
- ペットの同伴はご遠慮ください。(補助犬は除く。)
- 撮影会、商業撮影、報道・学術に関する撮影等は事前の許可が必要です。
- 民家内(縁側を含む)でのスケッチ、人物撮影、三脚の使用はお断りいたします。
- 敷地内での絵具の使用はお断りいたします。
- 竹やぶなど柵の中は、立入禁止区域です。
- 昆虫・草花の採取はご遠慮ください。
- テント類、自転車等の乗り物(車イス・シニアカーは除く)、ボール等の遊具の使用はお断りいたします。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 民家内の展示物にはお手を触れないでください。

公益財団法人大阪府文化財センター

日本民家集落博物館

561-0873 大阪府豊中市服部緑地1番2号
TEL:06-6862-3137 FAX:06-6862-3147
URL: <https://www.occh.or.jp/minka/>





日本民家集落博物館 館内案内図



1 河内布施の長屋門 大阪府 (国登録有形文化財)

当博物館の正門となっている、庄屋の門。正面右側は使用人の部屋、左側は蔵になっています。東大阪市足代から移築された建物です。



2 日向椎葉の民家 宮崎県 (国指定重要文化財)

平家落人伝説で有名な椎葉村から移築。民家は急な山の斜面に沿って建てられているため、横一列に部屋が並んだ奥行の狭いつくりになっています。12月の夜、「でい」(客間)で神楽が演じられ、村人は縁側などに座って楽しみました。



3 信濃秋山の民家 長野県 (国指定重要文化財)

新潟県との県境の豪雪地から移築。入口が前に張り出した「中門造り」になっています。壁も茅葺きで、夏は薄く冬は厚く葺き替えます。床は張らず、土間に茅を広げ、その上にムシロを敷いた土座住まいも特有。雪深い山村の暮らしぶりを伝える貴重な民家です。



4 大和十津川の民家 奈良県 (大阪府指定有形文化財)

紀伊山中の十津川村は、良質な杉の産地として有名な山村です。壁と屋根には杉板が使われ、軒下を強い雨風から保護するうちおろし板をめぐらしています。郷土(農業を営みながら生活する武士)の家であったので、便所に刀掛けがあります。

5 越前敦賀の民家 福井県 (大阪府指定有形文化財)

琵琶湖の北岸から福井県西部に見られる「湖北型」民家。外壁に柱を塗り込め、梁も柱も堂々とした太い材料を使うなど、豪雪に耐える頑丈なつくりになっています。台所が他の部屋より一段低い床張りになっているのは、土間にムシロを敷いて暮らししていた名残です。



6 北河内の茶室 大阪府 (国登録有形文化財)

交野市私部より移築。数寄屋と呼ばれる4畳半の茶室に3畳の勝手、水屋、物入れが付属しています。屋根は切妻造り茅葺き、庇は瓦と銅板で葺かれています。正面左側には「にじり口」と「節戸(しとみど)」が付けられています。



13 堺の風車 大阪府



昭和20年代頃まで大阪湾の堺港の浜から高石の浜にかけて畑の灌漑用の風車が700基以上もあり、独特の美しい風景がみられました。現地ではカザグルマと呼ばれ、羽の回転力を上下運動に変えてポンプを動かします。

7 南部の曲家 岩手県 (大阪府指定有形文化財)

馬の産地として栄えた旧南部藩の農家。主屋に大きなうまやをカギ型に接続したつくりから、曲家と呼ばれます。台所から土間ごしに馬の様子が見え、また主屋の囲炉裏の暖気が、うまやを通して屋外へ抜けるしくみに、北国の人々の馬への細やかな心遣いがうかがえます。



8 小豆島の農村歌舞伎舞台 香川県 (大阪府指定民俗文化財)

村の神社の境内に建てられた歌舞伎舞台。毎年春と秋に、田植えと稲の収穫を祝う祭では、神様に感謝するために歌舞伎芝居を行いました。村人たちは、自ら芝居を行ったり、見物したりしました。舞台前面向って左側に花道を取り付けて、芝居が行われました。



14 板倉の家 福島県

木造板倉構法で建てられた2011(平成23)年に発生した東日本大震災の応急仮設住宅。事務棟として再利用しながら、震災を後世に伝えます。2019(平成31)年に移築。



10 摂津能勢の民家 大阪府 (国指定重要文化財)

博物館最古であり、摂津・丹波地方特有の建築様式が見られる民家です。屋内を二分して片側を土間、もう片側を部屋として利用していました。低く垂れ下がった軒や厚く塗られた土壁、棟木を支える束、一間(約1.8m)ごとに建てられた柱など古民家の特色をよく残しています。



11 飛騨白川の合掌造り民家 岐阜県 (国指定重要有形民俗文化財)

屋根が手を合わせたような形になっていることから「合掌造り」と呼ばれる、風や雪の重さに強い構造です。1階は生活の場所、通気性のよい2階3階ではカイコを飼っていました。茅葺き屋根は、村人たちの共同作業(「クイ」)で葺き替えられてきました。白川村荻町に残る合掌集落は、世界遺産に登録されています。当館の民家は、1956(昭和31)年に移築され、合掌造り民家保存のさきがけとなりました。

12 堂島の米蔵 大阪府 (国登録有形文化財)

江戸時代、大阪は「天下の台所」として栄え、堂島川沿いに各地の大名の米蔵が立ち並んでいました。米蔵は元は吹き抜けになっており、床から天井まで米俵が積み上げられていました。

